4 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策(取組)の状況及び効果等

支援策(取 組)名称	・地域の様々なデータ(人口動態、経済状況等)と支援 方針をまとめた「地域カルテ」をブラッシュアップ ・地域が取り組むべき課題、支援策を含む官民協働 のあり方の整理 ・地域との共有の際には、ファシリテーション手法等を 用いた、連携協働、ネットワークづくり、活動推進等の 支援を行い新たな活動展開へと繋げる 〈区レベルの支援方針の視点〉	支援状況(実績)及び効果		左記の状況及び効果を踏まえた課題分析と今後の改善策等	
		○「地域カルテ」の地域・区役所(まちづくりセンター)の共有 ○地域が描く将来像「仮)地域将来ビジョン」策定や地活協等支援メニュー とのマッチングによる協働まちづくりに向けた推進支援 ○地域ニーズや地域の実情に応じた個別の支援	<支援効果> ○地域課題や地域ニーズを地域カルテに位置付け、地域の実状に応じた 個別の支援により、地域課題の解決に向けた解決が展開されている。	理・分析により、重点的な支援テーマ(3~4 テーマ程度)として絞り込まれつつある。	<今後の改善策等> ●今後は、区役所と地域が共有する情報として地域カルテの内容拡充(地域・住民目線による地域課題、将来ビジョンなど)と、地活協(構成員)をはじめとした様々な市民・活動主体を含む共有化プロセスの構築が必要である。 ●将来ビジョン的な発想については、地域ごとにそのとらえ方にあり、地域カルテの共有・活用プロセスの推進方法の詳細な検討が必要である。
す連見える 化』の 接 と 推	①新規住民とのコミュニティ形成 ②旧住民とのコミュニティ強化 ③地域課題解決に向けた既活動の強化 ④開かれた組織運営の継承を指標	○地域活動協議会の目指す姿に向けた支援 【地域の実状に応じた個別の支援】 …感染症拡大に伴う既存事業実施に向けた実施支援 …地域に合わせた広報活動強化支援 …まちづくりアイデア・ひらめきの実現を支援(新しい取り組みを発掘を支援) 【まちづくりセンターの活動による支援】 …多様な主体のへのアプローチ(参加、参画) …多様な主体のへのアプローチ(参加、参画) …多彩なテーマ提案による情報共有会・勉強会による取組のきっかけづくり …地域カルテの共有・活用による現況の共有支援	(西船場、江戸堀、朝、、明治、広教、西六、堀江、日吉) …感染症拡大に伴う夏季コミュニティ事業の中止と事業方針が整理された。 (高台、本田、九条東、九条南、九条北) …夏季コミュニティ事業の中止に替わる事業検討が整理された。 (本田、九条東、九条南、九条北) …感染症対策を取り入れた冬季コミュニティ事業(もちつき等)の企画が進められている。(西船場、江戸堀、堀江、日吉、九条東、九条南、九条北)【こどもをキーワードとした新しい住民へのアプローチについて】 …地域魅力発信に向けたまち歩きの企画が進められている。(江戸堀) …こどもを対象とした防災スタンプラリーの企画が進められている。(広教、朝、明治) 【連携や協働による新たな事業展開について】 …小中学校と連携し土曜授業を活用した防災訓練が実施された。(九条北) …構成団体と小中学校と、商業組合が連携し実施した自転事教室の実施支援を通じて、ネットワークの拡大に向けた取り組みが行われた。(日吉) …感染症対策を踏まえた避難所開設訓練の企画が進められている。(江戸堀) 【地域の危険箇所の共有と安全・安心に向けた取り組みについて】 …地域内に危険箇所について意見交換が行われた。安全安心まちづくり事業で、危険個所の共有が行われ、対策として補助金を活用した防犯カメラの設置が検討された。(九条北) 【多様な主体のへのアプローチ(参加、参画)】 …広報紙「まちセンだより」の地域と協働による紙面作成を通じて、これまでつながりが薄かった若い世代、新規住民、地縁団体、企業等へ地域活動協議会や地縁団体活動を周知が行われている。(13地域+干代崎) …新たな地域活動団体が各協議会とつながるきっかけづくりが行われている。 ・西区で活動検討している防災士と地域がつながるきっかけづくり(九条東)		
		【地域活動協議会の形成支援・運営支援】 …協議会の運営支援 地域活動協議会の事務機能の強化・支援 まちづくりセンターと地域の協働による広報 西区まちづくりセンター開設業務(相談窓口の解説) 役員改選等にともなう初動支援等の協議会運営事務支援 …よりよい地域の将来ビジョンに向けた魅力再検証	…写真とひとことで行うアナログな広報ツール「アナログラム」を通じて、地域資源の再発掘や再確認、広報のルールに精通した人材育成が図られている。(13地域+千代崎) …男の座学に「Afterコロナに向けた地域活動」をテーマに講師として参加し、これからの地域活動を考える場をコーディネート。(堀江) 【地域活動協議会の事務機能の強化・支援】 …PCトラブルの相談窓口を活用し、情報技術の習得行われている。(靱、日吉) …PCによる外部機関の地活協アンケートが入力返信されている。(13地域) 【役員改選等にともなう初動支援等の協議会運営事務支援】 …役員交代に伴う制度説明や密な関係により、運営の見直しが進められている。(高台、九条南、九条北) 【よりよい地域の将来ビジョンに向けた魅力再検証】 …地域魅力発信に向けたまち歩きの企画が進められている。(江戸堀)		

4 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策(取組)の状況及び効果等

支援策(取組)名称	事業者選定時における企画提案(事業計 画書)の概要	支援状況(実績)及び効果		左記の状況及び効果を踏まえた課題分析と今後の改善策等	
多彩なテーマの 勉強会の開催 (まちづくりセン ター主催)	■多彩なテーマの勉強会の開催 ・地域課題に対応した多彩なテーマの勉強会・講演会等の開催 ・各地域間の課題や取り組みについての意見交換 ・他地域の先行事例を学び同じ悩みを持つ地域間の情報共有と連携を図る ・ネットワーク拡大へとつなげるとともに新たな支援の検討 ・参加者は、地活協の委員に限らず、地縁団体や区内で活動している団体、マンション住民や組合、企業などテーマにより呼びかけを行う	・第1回 テーマ:防災 阿倍野防災センター ・第2回(予定) テーマ:視察 こどもを対象とした新たな地域活動 ・第3回(予定) テーマ:広報 地域紹介パンフレット ・第4回(予定) テーマ:よとめ これからの地域活動を考える ※(予定)と記載のものは、感染症拡大状況を鑑みて実施方針を検討中 〇地域の要望などにより個別に実施した勉強会	<支援効果>	計画していた会議形式の勉強会開催が難しい 状況にあるが、感染者数の増減を考慮しつ つ、地域の実情に応じた実施が行われてい	
マンションコミュニ ティを核とした 地域とのよりよい 関係形成支援	■マンションコミュニティとの関係形成支援 ・西区住民の9割がマンション居住者 ・近年も増加の傾向にあり、地域に与える影響は大きい ・地域とマンションの関係形成は重要な課題 ・マンション管理組合や管理会社への積極的アプローチの推進	<支援状況> ○マンション入居者をはじめとした西区住民(転入者)への広報として、まちづくりセンター広報を活用した地域情報発信 ・まちセンだより・広報パネル ・区役所 魅力発信コーナー/地域広報紙ブースの設置 ・アナログラムの運用 ・フェイスブック・インスタグラムの運営 ○防災等の共通の活動テーマをキッカケにした管理組合等との活動協働の推進支援	新たな地域情報ツール「アナログラム」の運用により、マンション居住者に対し、地域活動の周知を強化した。 〇新型コロナウイルス感染防止に伴い、管理組合等へのアプローチや協働した取組などが行えず、進捗がない。	における共通の課題であるが、一方でマンションコミュニティからの参画意識はまだまだ希薄な状況にあるようである。 〇さらに、新型コロナウイルス感染防止に伴う	ネートをすすめるため、ニーズの分析と当事者 との共有のしくみの構築が必要となる。 ●昨年度より、防災をキーワードにした取組を
まちづくりセンターと地域の観動	■まちづくりセンターと地域の協働による広報活動 ・今まで繋がりの薄かった若い世代、新規住民、地域 団体、企業等へ地活協や地縁団体活動を周知 ・幅広くまちづくりセンターの活用を促す ・地域課題に基づいた広報テーマの設定 ・地域でアピールしたいことなど分かりやすく広報する	【まちセンだよりの発行 (各1500部)】 ①西区の夏祭り特集 ②地域活動紹介 その1(日吉 自転車教室&千代崎 アドプトリバー) ③地域活動紹介 その2(本田 ふれあい喫茶&福祉事業紹介)(予定)	地域活動協議会のしくみや活動案内などが発信がされている。 〇地域情報発信コーナーを通じて区役所来庁者に情報提供がされている。 〇電子広報媒体の得手不得手が課題となるなか、手書きによる従来の広報作成方法により誰でも情報発信ができる「アナログラム」の運用により、SNS等を活用した情報発信の頻度は増加している。 〇「アナログラム」の取り組みを通じて各地域で肖像権等の実践的な指導がされ、広報担当者の育成が継続して進められている。 〇地域ニーズや地域の実情に応じた個別の活動が進められている。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	報は印刷物の掲示・配布が中心である。 OSNS等を活用し協議会の活動報告、身近な地域情報の発信が行われている地域もある中、電子広報媒体の得手不得手が課題となっている。 Oまた、防災対策や高齢対策、こどもの安全・健全育成など、地域活動に求められるニーズは多岐にわたることから、新しい居住者・担い手への情報発信には、より幅広い内容をより幅広く伝える必要がある。 一地域紹介ホームページのリニューアルが実協されたが、地域内で更新や維持ができる内積である。 材が見つかっていない。また、掲載する内容を後、地域内の理解を図る必要がある。合わせて、電子媒体に精通した人材の発掘という課	ナログラム」の運営をまちづくりセンターにて開始した。今後は、アナログラムへの感心を高めるとともに、幅広い市民に情報提供(投稿)いただけるよう、しくみの周知・広報や運用の工夫を重ねる必要がある。

4 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策(取組)の状況及び効果等

